

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成28年7月21日 (2016.7.21)

【公開番号】特開2014-235641 (P2014-235641A)  
 【公開日】平成26年12月15日 (2014.12.15)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-069  
 【出願番号】特願2013-117773 (P2013-117773)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 17/30 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 F 17/30 2 2 0 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成28年6月2日 (2016.6.2)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

文書に含まれる複数ページにおける各ページとリファレンスページとを比較することで、各ページの記載日時を推定する手段と、

前記文書に含まれる複数ページの中の対象とするページの記載日時を、当該対象とするページを除く他のページの記載日時に基づいて推定する推定手段とを有することを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記推定手段は、

前記推定手段で推定された記載日時に対する自信度が高いページの記載日時に基づいて、前記対象とするページの記載日時を推定することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記推定手段は、

前記対象とするページの前記推定された記載日時の自信度が低い場合に、当該記載日時を他のページの記載日時に基づいて推定することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記文書におけるページの切り替わりの発生を判断する判断手段をさらに有し、

前記判断手段は、

前記文書からページを検出した状態から、当該文書から別のページを検出した状態に移した場合に、ページの切り替わりが発生したと判断することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の装置。

【請求項 5】

文書に含まれる複数ページにおける各ページとリファレンスページとを比較することで、各ページの記載日時を推定する工程と、

前記文書に含まれる複数ページの中の対象とするページの記載日時を、当該対象とするページを除く他のページの記載日時に基づいて推定する推定工程とを有することを特徴とする装置の制御方法。

【請求項 6】

前記推定工程は、

前記推定工程で推定された記載日時に対する自信度が高いページの記載日時に基づいて、前記対象とするページの記載日時を推定することを特徴とする請求項 5 に記載の装置の制御方法。

【請求項 7】

前記推定工程は、

前記対象とするページの前記推定された記載日時の自信度が低い場合に、当該記載日時を他のページの記載日時に基づいて推定することを特徴とする請求項 5 に記載の装置の制御方法。

【請求項 8】

前記文書におけるページの切り替わりの発生を判断する判断工程をさらに有し、

前記判断工程は、

前記文書からページを検出した状態から、当該文書から別のページを検出した状態に移した場合に、ページの切り替わりが発生したと判断することを特徴とする請求項 5 乃至 7 の何れか 1 項に記載の装置の制御方法。

【請求項 9】

請求項 5 乃至 8 の何れか 1 項に記載の装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。